

作成日: 2012年05月31日

改訂日: 2018年05月30日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 :UX-マルチバインダー (主剤)  
製品種類:特殊変性ポリウレタン樹脂塗料 主剤  
推奨用途 :建築用、その他  
会社名 :カナエ塗料株式会社  
住所 :〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-6-13  
担当部署 :環境安全課  
電話 :06-6961-2263  
FAX :06-6961-0861  
E-mail :qa@kanaepaint.co.jp  
製品番号(SDS NO) :559807G-4

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 2

発がん性:区分 2

生殖毒性:区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分 2

環境有害性

水生環境有害性(急性):区分 2

水生環境有害性(長期間):区分 2

(註)記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。  
 熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざける。ー禁煙。  
 容器を密閉する。  
 容器を接地する/アースをとる。  
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。  
 火花を発生させない工具を使用する。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずる。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。  
 この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。  
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する。  
 環境への放出を避ける。  
 保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
 指定された個人用保護具を使用する。

#### 応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。  
 漏出物を回収する。  
 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。  
 飲み込んだ場合:口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。  
 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗う。  
 皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。  
 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡する。  
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。  
 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。  
 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。  
 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。  
 水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。

#### 貯蔵

施錠して保管する。  
 日光から遮断する。  
 換気の良いところで保管する。容器を密閉する。  
 換気の良いところで保管する。涼しい所に置く。

#### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

#### 有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。  
 アレルギー症状を引き起こす恐れがある物質を含有している。  
 塗膜を研磨する場合は、粉塵を吸い込まないように注意すること。

#### 環境影響

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

#### 物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令番号
酸化チタン(IV)	5 - 10	13463-67-7	-
キシレン(異性体混合物)	2.0	1330-20-7	1-080
ミネラルスピリット	20 - 25	8052-41-3	-
エチルベンゼン	1.3	100-41-4	1-053

1,2,4-トリメチルベンゼン	5.3	95-63-6	1-296
1,3,5-トリメチルベンゼン	1.4	108-67-8	1-297
メタノール	0.1 - 1	67-56-1	-
エタノール	0.1 - 1	64-17-5	-
t-ブチルアルコール	0.1 - 1	75-65-0	-
メタクリル酸メチル	0.1 - 1	80-62-6	1-420
スチレン	0.1 - 1	100-42-5	1-240

・製品中に1%以上(特定第1種の場合は0.1%以上)含有する化学物質管理促進法(PRTR法)対象指定化学物質(化合物と指定されている場合は当該元素に換算)は、その含有量を有効数字上位2桁で表示する。政令番号欄には、種-号番号を示す。なお、第2種指定化学物質は含有していない。

・混合溶剤(ミネラルスピリット、芳香族ナフサ等)に含有する1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、クメン、キシレン、エチルベンゼン、ナフタレン等については含有量が一定していないので代表値(閾値以上の場合)を示す。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」又は「通知すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV)、キシレン(異性体混合物)、ミネラルスピリット、エチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン、メタノール、エタノール、t-ブチルアルコール、メタクリル酸メチル、スチレン

化管法「指定化学物質」該当成分

キシレン(異性体混合物)、エチルベンゼン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪いときは、医師に連絡する。

##### 皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。

溶剤、シンナーを使用してはならない。

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。

多量の水と石鹸で洗う。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

##### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

##### 飲み込んだ場合

口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。

嘔吐物を飲み込ませてはならない。

負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

#### 5. 火災時の措置

##### 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

##### 不適切な消火剤

水を使用してはならない。

##### 特有の危険有害性

燃焼の際に有毒なCO、NO<sub>x</sub>、低分子モノマー等を生成する。

##### 特有の消火方法

安全に対処できるのであれば、可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。

消火活動は風上から行う。

##### 消火を行う者の保護

適切な保護具（耐熱着衣など）を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する  
屋内では換気をしっかり行う。  
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

### 環境に対する注意事項

河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

### 回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。  
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をすること。  
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。  
大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。

### 二次災害の防止策

漏出物を回収する。  
付近の着荷源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### （取扱者のばく露防止）

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。  
指定された個人用保護具を使用する。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。  
容器を接地する/アースをとる。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。  
火花を発生させない工具を使用する。  
静電気放電に対する予防措置を講ずる。  
使用済みウエス、塗料カス、スプレーダストや製品が付着した紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。  
容器はその都度密栓する。  
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。  
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

### 安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。  
保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。  
取扱い後は、手・顔等はよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。  
気管支炎にかかりやすいなど呼吸器系が敏感な人や既往症のある人、皮膚かぶれを起こしやすい人、アレルギー体質の人には、はじめから塗装作業を担当させないようにする。

### 配合禁忌等、安全な保管条件

#### 適切な保管条件

施錠して保管する。  
換気の良い場所で保管する。容器を密閉する。  
換気の良い場所で保管する。涼しい所に置く。  
火気、熱源から遠ざけて保管する。  
子供の手の届かないところに保管する。

#### 避けるべき保管条件

日光から遮断する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標  
管理濃度

(キシレン(異性体混合物))  
作業環境評価基準(2004) <= 50 ppm  
(スチレン)  
作業環境評価基準(2004) <= 20 ppm  
(メタノール)  
作業環境評価基準(1995) <= 200 ppm  
(エチルベンゼン)  
作業環境評価基準(2012) <= 20 ppm

許容濃度

(エチルベンゼン)  
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>  
(スチレン)  
日本産衛学会(1999) 20ppm; 85mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(1,3,5-トリメチルベンゼン)  
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>  
(キシレン(異性体混合物))  
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>  
(メタノール)  
日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(t-ブチルアルコール)  
日本産衛学会(1987) 50ppm; 150mg/m<sup>3</sup>  
(1,2,4-トリメチルベンゼン)  
日本産衛学会(1984) 25ppm; 120mg/m<sup>3</sup>  
(メタノール)  
ACGIH(2008) TWA: 200ppm  
STEL: 250ppm (皮膚)(頭痛; 眼障害; めまい; 吐き気)  
(メタクリル酸メチル)  
ACGIH(1992) TWA: 50ppm  
STEL: 100ppm (感作)(上気道および眼刺激; 体重影響; 肺浮腫)  
(ミネラルスピリット)  
ACGIH(1980) TWA: 100ppm (眼, 皮膚および腎臓障害; 吐気; 中枢神経系損傷)  
(スチレン)  
ACGIH(1996) TWA: 20ppm  
STEL: 40ppm (中枢神経系損傷; 上気道刺激; 末梢神経障害)  
(t-ブチルアルコール)  
ACGIH(1992) TWA: 100ppm (中枢神経系損傷)  
(キシレン(異性体混合物))  
ACGIH(1992) TWA: 100ppm  
STEL: 150ppm (上気道および眼刺激; 中枢神経系損傷)  
(酸化チタン(IV))  
ACGIH(1992) TWA: 10mg/m<sup>3</sup> (下気道刺激)  
(エタノール)  
ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)  
(エチルベンゼン)  
ACGIH(2010) TWA: 20ppm  
(上気道刺激; 腎臓障害; 渦巻管損傷)

設備対策

取り扱い設備は防爆型を使用する。  
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。  
液体の輸送、汲み取り、攪拌の装置についてはアースを取れるように設備すること。

屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

タンク内部等の密閉箇所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスクを着用すること。

密閉された場所では送気マスクを着用すること。

スプレー作業を行う場合は、適切な保護マスクを着用すること。

##### 手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

取り扱う場合には、皮膚を直接暴露させないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染された衣類を脱ぐ。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状 :非水溶性液体

色 :グレー系

臭い :溶剤臭

pH :知見なし

### 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 :130～230℃

融点/凝固点 :知見なし

分解温度 :知見なし

引火点 :31.5℃

自然発火温度 :知見なし

爆発特性 :引火又は爆発範囲

下限 :0.6vol %

上限 :8.0vol %

蒸気圧 :知見なし

蒸気密度 :知見なし

比重/密度 :1.26g/cm<sup>3</sup>

n-オクタノール/水分配係数 :知見なし

放射性 :知見なし

かさ密度 :知見なし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

樹脂成分は空気中で酸化し、発熱、蓄熱される条件があると自然発火する恐れがある。

燃焼により、CO、NO<sub>x</sub>、低分子モノマー等の有害性ガスが発生する。

### 混触危険物質

接触により危険性のある物質については、特に情報を有していない。

---

## 11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状  
急性毒性

日本公表経口毒性成分データ

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500 mg/kg (EHC 186, 1996)

(スチレン)

rat LD50=5000 mg/kg (CERI・NITE有害性評価書No.52, 2004)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 mg/kg (環境省リスク評価第1巻, 2002)

(メタノール)

human LD50=ca. 1400 mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(t-ブチルアルコール)

rat LD50=2200 mg/kg (DFGOT vol.19, 2003)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

female rat LD50=5000 mg/kg (RTECS, 2008)

吸入毒性成分データ

(エチルベンゼン)

vapor : rat LC50=4000 ppm (ATSDR, 1999)

(スチレン)

vapor : rat LC50=2770 ppm/4hr (計算値)

(メタクリル酸メチル)

vapor : rat LC50=7093 ppm (ECETOC JACC30, 1995)

労働基準法 疾病化学物質

スチレン; キシレン(異性体混合物); メタノール; メタクリル酸メチル

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(エタノール)

ラビット 400 mg open ; MILD ラビット 500 mg/24H ; SEVERE

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 500 mg/24H ; MODERATE

(スチレン)

ラビット 500 mg open ; MILD

(酸化チタン(IV))

ヒト 0.3mg/3D-I ; MILD

(エチルベンゼン)

ラビット 15 mg/24H open ; MILD

(メタノール)

ラビット 20 mg/24H ; MODERATE

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(エタノール)

ラビット 100 mg/24H ; MODERATE ラビット 100 mg/4S rinse ; MODERATE

(キシレン(異性体混合物))

ラビット 87 mg ; MILD ラビット 5 mg/24H ; SEVERE

(メタノール)

ラビット 40 mg ; MODERATE 100 mg/24H ; MODERATE

感作性

厚労省局長通達

(メタクリル酸メチル) 局長通達-19 (1996)

呼吸器感作性成分データ

(メタクリル酸メチル) 産衛学会

皮膚感作性成分データ

(メタクリル酸メチル) EU-RAR No.22, 2002

## 生殖細胞変異原性

## 生殖細胞変異原性区分1 成分データ

(エタノール) mouse/rat : SIDS, 2009

## 生殖細胞変異原性区分2 成分データ

催奇形性データなし

## 発がん性

(エタノール)

IARC-Gr.1 ; ヒトに対して発がん性がある。

(エチルベンゼン)

IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(スチレン)

IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(酸化チタン(IV))

IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

(キシレン(異性体混合物))

IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。

(メタクリル酸メチル)

IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。

(酸化チタン(IV))

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(t-ブチルアルコール)

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(メタクリル酸メチル)

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

ACGIH-A3(1998) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(キシレン(異性体混合物))

ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エタノール)

ACGIH-A3(2008) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(スチレン)

ACGIH-A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチルベンゼン)

日本産衛学会-2B : 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(スチレン)

日本産衛学会-2B : 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質

(ミネラルスピリット)

EU-発がん性カテゴリ2; ヒト発がん性とみなされる

## 生殖毒性

## 生殖毒性区分1 成分データ

(キシレン(異性体混合物)) IRIS, 2003

(エチルベンゼン) SIDS, 2005

(メタノール) mouse : PATTY 5th, 2001

(エタノール) human : SIDS, 2009

(スチレン) CERi・NITE有害性評価書 No.52, 2004

## 生殖毒性区分2 成分データ

(t-ブチルアルコール) rat : NITE初期リスク評価書, 2007

(メタクリル酸メチル) EU-RAR No.22, 2002

## 短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

## 特定標的臓器毒性 単回ばく露区分1 成分データ

(キシレン(異性体混合物)) 呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓 ( CERi・NITE評価 No.62, 2004 )

## 特定標的臓器毒性 単回ばく露区分2 成分データ

(エチルベンゼン) 中枢神経系 ( CERiハザードデータ集, 1998 )

## 特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3(気道刺激性) 成分データ

- (ミネラルスピリット) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
- (エチルベンゼン) 気道刺激性 (CERIハザードデータ集, 1998)
- (1,2,4-トリメチルベンゼン) 気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)
- 特定標の臓器毒性 単回ばく露区分3(麻酔作用) 成分データ
  - (キシレン(異性体混合物)) 麻酔作用 (CERI・NITE評価 No.62, 2004)
  - (ミネラルスピリット) 麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)
  - (1,2,4-トリメチルベンゼン) 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)
  - (1,3,5-トリメチルベンゼン) 麻酔作用
- 特定標の臓器毒性 反復ばく露区分1 成分データ
  - (キシレン(異性体混合物)) 呼吸器、神経系 (CERI・NITE評価 No.62, 2004)
- 特定標の臓器毒性 反復ばく露区分2 成分データ
  - (ミネラルスピリット) 肝臓、精巣 (HSDB, 2005)
  - (1,2,4-トリメチルベンゼン) 中枢神経系、肺 (環境省リスク評価第6巻, 2008)
- 吸引性呼吸器有害性
- 吸引性呼吸器有害性区分1 成分データ
  - (ミネラルスピリット) hydrocarbon, kinematic viscosity = 0.87-1.94 mm<sup>2</sup>/s (25 C)

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

#### 水生毒性 成分データ

(エチルベンゼン)

甲殻類(ブラウンシュリンプ) LC50=0.4mg/L/96hr (CERI・NITE, 2006)

(スチレン)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50=4.02 mg/L/96hr (CERI\_NITE, 2004)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=6mg/L/48hr (環境省, 2002)

(t-ブチルアルコール)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=5504mg/L/48hr (CERI, 1997)

(キシレン(異性体混合物))

魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (CERI\_NITE, 2005)

(酸化チタン(IV))

甲殻類(オオミジンコ) EC50 > 1000mg/L/48hr (AQUIRE, 2003)

(エタノール)

魚類(ファットヘッドミノー) LC50 > 100mg/L/96hr (SIDS, 2005)

(メタノール)

甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73 mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(ミネラルスピリット)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=0.42-2.3 mg/L/48hr (EHC, 1996)

(メタクリル酸メチル)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=69mg/L/48hr (EU-RAR, 2002)

(1,2,4-トリメチルベンゼン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50 = 6.14mg/L/48hr (IUCLID, 2000)

#### 水溶解度

(エチルベンゼン)

0.015 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2007)

(スチレン)

0.03 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2006)

(1,3,5-トリメチルベンゼン)

非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

(酸化チタン(IV))

溶けない(HSDB, 2004)

(エタノール)  
100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)  
(メタノール)  
100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)  
(t-ブチルアルコール)  
100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)  
(ミネラルスピリット)  
溶けない (ICSC, 2004)  
(メタクリル酸メチル)  
1.6 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2003)  
(1,2,4-トリメチルベンゼン)  
非常に溶けにくい (ICSC, 2002)

#### 残留性・分解性

(エチルベンゼン)  
本質的に易分解性があり、水中から速やかに揮散する (SIDS, 2005)  
(スチレン)  
BODによる分解度: 100% (既存化学物質安全性点検データ)  
(1,3,5-トリメチルベンゼン)  
BODによる分解度: 0% (既存化学物質安全性点検データ)  
(キシレン(異性体混合物))  
BODによる分解度: 39% (CERIハザードデータ集, 2005)  
(ミネラルスピリット)  
BODによる分解度: 12 - 13% (EHC187, 1996)  
(メタクリル酸メチル)  
BODによる分解度: 94.3% (既存化学物質安全性点検データ)  
(1,2,4-トリメチルベンゼン)  
BODによる分解度 = 4-18% (既存点検, 1977)

#### 生体蓄積性

(エタノール)  
log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)  
(メタノール)  
log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)  
(t-ブチルアルコール)  
log Pow=0.4 (ICSC, 1995)  
(ミネラルスピリット)  
log Pow=3.16 through 7.06 (ICSC, 2004)  
(メタクリル酸メチル)  
log Pow=1.38 (PHYSPROP Database, 2005)  
(1,2,4-トリメチルベンゼン)  
log Pow=3.8 (ICSC, 2002)  
(エチルベンゼン)  
log Kow=3.15 (PHYSPROP Database, 2005)  
(スチレン)  
log Kow=2.95 (PHYSPROP Database, 2005)  
(1,3,5-トリメチルベンゼン)  
log Pow=3.42 (ICSC, 2002) ; BCF=342 (Check & Review, Japan)  
(キシレン(異性体混合物))  
log Pow=3.16 (PHYSPROP Database, 2005)

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理する。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

廃棄物等を焼却処理する場合には有毒ガスを発生するため、適切な焼却温度及び洗浄装置のある焼却炉を使用すること。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。

汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

---

#### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1263

クラス :3

容器等級 :III

正式品名 :塗料又は塗料関連物質

指針番号 :128

輸送の特定の安全対策及び条件

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。  
陸上輸送の場合、消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送の場合は、船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

航空輸送の場合は、航空法に定めるところに従うこと。

---

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法

特定化学物質 第2類:

エチルベンゼン

特定化学物質 特別管理物質:

エチルベンゼン

第3種有機溶剤等:

ミネラルスピリット

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物(30°C ≤ 引火点 < 65°C)

名称表示危険/有害物(令18条)又は名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

エタノール; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 酸化チタン(IV); スチレン;

1,3,5-トリメチルベンゼン; 1,2,4-トリメチルベンゼン; t-ブチルアルコール; ミネラルスピリット;

メタクリル酸メチル; メタノール

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:

エチルベンゼン(1.3%)(1-053); キシレン(異性体混合物)(2%)(1-080); 1,2,4-トリメチルベンゼン(5.3%)(1-296);

1,3,5-トリメチルベンゼン(1.4%)(1-297)

消防法

第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

1,2,4-トリメチルベンゼン; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); スチレン; 1,3,5-トリメチルベンゼン;

メタノール

大気汚染防止法

メタノール

船舶安全法

引火性液体類 分類3

**航空法**

引火性液体 分類3

**海洋汚染防止法**

有害液体物質(X類): 1,3,5-トリメチルベンゼン

有害液体物質(Y類): メタクリル酸メチル; エチルベンゼン; スチレン; キシレン(異性体混合物); メタノール

有害液体物質(Z類): 酸化チタン(IV); エタノール

**廃棄物処理法**

特別管理産業廃棄物: 引火性廃油

---

**16. その他の情報****参考文献**

JIS Z 7253 (2012年)

日本塗料工業会:GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)]

日本塗料工業会:「SDS用化学物質データベース(塗料用)」

原材料メーカーSDS

**責任の限定について**

本データシートは、作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入力した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。